

新庁舎の計画概要



正面玄関外観イメージ

■「千年和紙に育まれた百年庁舎」

いの町の伝統と文化を継承し、これから百年以上にわたり、災害に強くそして永く愛され生き続いていく百年庁舎とします。

●地震と水害の両方に強い百年庁舎の実現

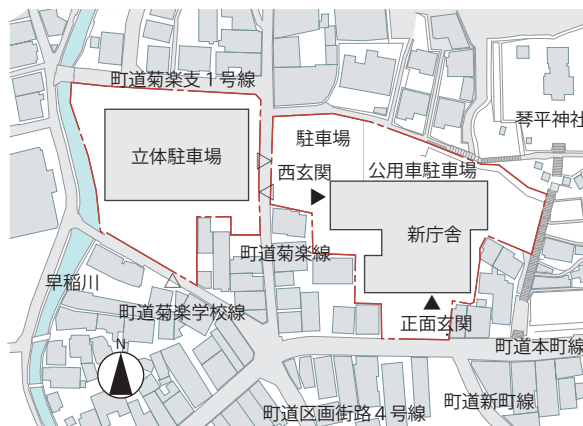
近年発生が予想される南海・東南海地震に対し、免震構造で耐えるとともに、仁淀川の堤防決壊を想定した浸水被害にも耐えることができ、災害時の本部機能維持を最大限に考慮したシステムとします。

●みんなが入りやすく、みんなを使い続けられる庁舎

誰もが入りやすい段差のないアプローチや一つのフロアに集約された配置とし、ワンストップ窓口など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの庁舎です。1階には住民との協働スペース「いのホール」を設け、イベントなどで利用し、町民の方々のコミュニケーションの場として利用できます。

●地球にやさしい庁舎

深い軒による日射カットや熱負荷を抑える二重屋根、自然採光、自然通風の取り入れなど「いの」の自然に適した建物の形状とします。さらに、太陽光発電パネルの採用や雨水の利用、内装材の木質化など地球にやさしいエコ技術をふんだんに取り入れた庁舎です。



■新庁舎の概要

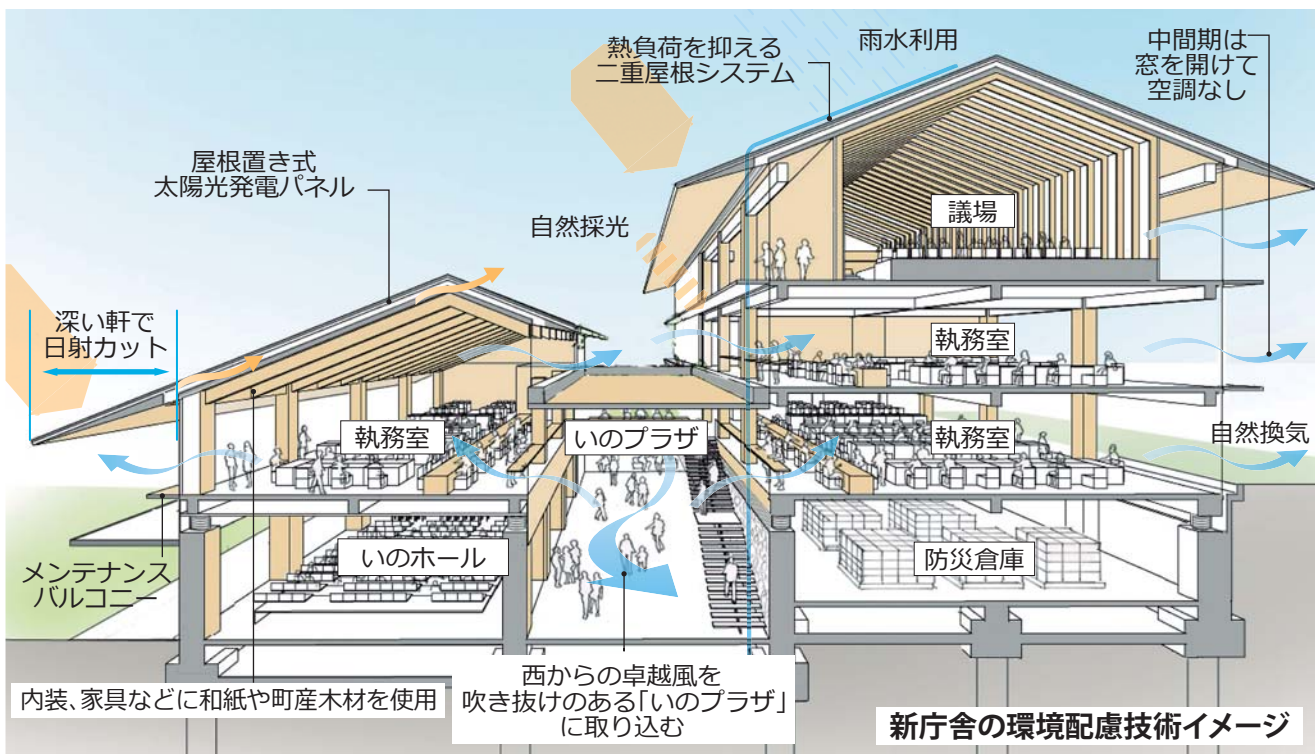
建築面積＝約1,600㎡

延床面積＝約5,200㎡

高さ＝約20m

構造＝鉄筋コンクリート4階建て・免震構造

工期＝平成24年下半期～平成26年3月(予定)



新庁舎の環境配慮技術イメージ